

落合中だより

真庭市立落合中学校

《校訓》 明るく・楽しく・美しく

令和7年4月18日発行 No.2

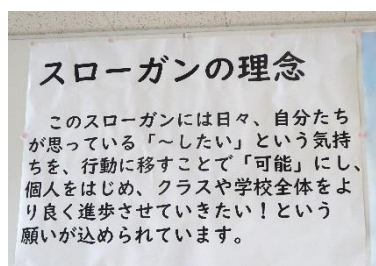
○新入生オリエンテーション

4月14日、生徒会「新入生オリエンテーション」を行いました。執行部と専門委員長が中心になって企画運営し、1年生に生徒会組織や各委員会の活動内容・取組について説明しました。また、部ごとにデモンストレーションを行い、活動の様子を紹介して入部を呼びかけました。中学校の委員会活動や部活動の様子がよく分かるようにとても工夫されていました。この行事の後、1年生はクラスで委員会の所属を決めたり、仮入部を始めたりします。生徒会執行部をはじめ各委員会の委員長や各部活動の部長の姿が頼もしく見えました。



○生徒会スローガン

始業式と新入生オリエンテーションで執行部から生徒会スローガンが発表されました。今年のスローガンは、「進歩～したいを可能に～」です。込められた理念を全校生徒で共有し、生徒会活動を盛り上げて、落合中学校をさらに良い学校にしていってください。



○1年交通安全教室

4月16日、真庭警察署交通安全課の方を講師に招いて交通安全教室を行いました。通学に不慣れな1年生の事故やトラブルの抑止のために毎年入学後すぐに行っているものです。まず各自の自転車を点検し、その後運動場に描かれたコースを運転したり教室でDVDを見たりして、安全運転の技術や交通安全に対する知識を習いました。

しばらくすると梅雨の季節に入り雨の日は危険がさらに増します。また、秋以降は日暮れが早く薄暮での帰宅になります。3年間無事故無違反で安全に登下校してください。



うれしい瞬間

新学期が始まって約2週間が経ちました。1年生も少しずつ学校に慣れてきているようで、毎日大きな声でよくあいさつをしてくれます。2・3年生も同じで、新しいクラスにもだんだんなじんできているように見受けられます。そんな中、先日ある先生と次のような話をしました。それは、春休みは2週間あるかないかの短い期間なのだけど、その2週間で生徒が見違えるように変化することがありますね、という内容です。変化とはどういうことかということ、顔つきが引き締まってしっかりしてきたように見えたり、表情が大人びて見えたりするのです。3年生は最高学年としての自覚、2年生は後輩ができることへの責任感が、そうさせるのかも知れません。何かしら体つきも大きくなったようにも感じます。その先生はそれを「春休みマジック」と言われました。まさに言い得て妙、とはこのことです。約2週間という時間の中で一人一人の生徒が内に秘めたるものを持ち、新学期を迎えたのだと思います。教師という仕事に携わっていて、子どもたちの成長が感じられるこの瞬間は、卒業の日の感動と同じくらいうれしいひとときです。6年生の担任をされた小学校の先生が中学生になった1年生を見るときもきっと同じだろうな、と思います。別の日には落合駅で汽車を待つ高1生や津山市の鶴山通りを歩いている落合中の卒業生を見かけました。この時も同じように春休みマジックを感じたひとときでした。